写真図版5　出土遺物（2）土器

1（7図2）

3（7図12）

5（8図2）

7（8図7）

2（7図7）

4（8図1）

6（8図3）

8（8図9）

9（9図3）

10（9図7）

11（9図5）

12（9図8）

13（10図2）

14（10図3）

表面

裏面

15（10図4）

表面

裏面

16（10図5）

【縮尺】1～16：1/2

写真図版6　出土遺物（3）土器・石器・骨角製品・貝製品

引用・参考文献

阿部芳郎 2014「関東地方における製塩土器の出現過程−器種変遷と製作技法からみた製塩土器の出自−」『駿大史学』150号 駿台史学会

阿部芳郎 2015「縄文時代における土器製塩の展開と多様性」『明治大学人文科学研究所紀要』76冊

阿部芳郎 2016「「藻塩焼く」の考古学」『考古学研究』63巻2号 考古学研究会

阿部芳郎 2017「製塩研究のイノベーション」『縄文の塩−土器製塩の技術と展開−シンポジウム予稿集』明治大学資源利用史研究クラスター・日本先史文化研究所

阿部芳郎 2018「製塩研究における問題点の整理と今日的課題」『縄文の塩Ⅱ−製塩土器の型式と技術−シンポジウム予稿集』明治大学資源利用史研究クラスター

阿部芳郎・河西学・黒住耐二 2013「縄文時代における製塩行為の復元−茨城県広畑貝塚採集の白色結核体の生成過程と土器製塩」『駿大史学』149号 駿台史学会

阿部芳郎・樋泉岳二 2015「縄文時代晩期における土器製塩技術の研究−茨城県法堂遺跡における製塩行為の復元−」『駿台史学』155号　駿台史学会

五十嵐俊雄2006『考古資料の岩石学』パリノ・サーヴェイ株式会社

市川健夫 2016「縄文晩期〜弥生の土製品・石製品」『一般社団法人日本考古学協会2016年度弘前大会 第一分科会 津軽海峡圏の縄文文化研究報告資料集』

大坂拓 2012「仙台平野の弥生土器」特別企画展『発掘富沢! −30年のあゆみ−』図録 地底の森ミュージアム

大場利夫 1943「清水洞窟発掘概報」『縄紋』2 縄紋文化研究会

大場利夫 1948「清水洞窟出土の文化遺物」『縄紋』4 縄紋文化研究会

加藤孝 1952「塩釜市一本松貝塚の調査−東北地方縄文式文化の編年学的研究（2）」『地域社会研究』3・4号 東北大学地域社会研究会

加藤道男 1989「仙台湾周辺の製塩遺跡」『東北歴史資料館研究紀要』15巻

金子昌浩・牛沢百合子1979「斜行着柄加工をもつ刺突具」『考古学ジャーナル』170

君島武史 1999「東北地方の製塩土器−三陸地方を中心に−」『北上市埋蔵文化財センター紀要』1号

小井川和夫 2004「里浜貝塚風越地点出土土器の検討」『東北歴史博物館研究紀要』5

小井川和夫・加藤道男 1994「3.宮城県・岩手県」『日本土器製塩研究』青木書店

児玉大成 1998「玉象嵌土製品について−聖山式土器に伴う特殊な土製品−」『北方の考古学−野村崇先生還暦記念論集』

後藤勝彦 1968「宮城県七ヶ浜町吉田浜貝塚〔1〕」『仙台湾周辺の考古学的研究』宮城県の地理と歴史3 宮城教育大学歴史研究会

後藤勝彦 2005「宮城県宮城郡七ヶ浜町左道貝塚の調査−陸前地方前期縄文土器の編年学的研究(1)−」『宮城考古学』7号 宮城県考古学会

後藤勝彦 2013『仙台湾沿岸貝塚の基礎的研究V−その他の貝塚・製塩遺跡−』

後藤勝彦・丹治英一・槇要照 1971「宮城県七ヶ浜町沢上貝塚の調査」『仙台湾』創刊号 仙台湾刊行会

小林圭一 2018「松島湾における縄文時代晩期の遺跡動態」『研究紀要』10号 公益財団法人山形県埋蔵文化財センター

近藤義郎 1962「縄文時代における土器製塩の研究」『岡山大学文学部学術紀要』15

佐藤祐輔 2015「東北」『弥生土器』考古調査ハンドブック12 ニューサイエンス社

菅原弘樹 2005「東北地方における弥生時代貝塚と生業」『古代文化』57巻5号 古代学協会

菅原弘樹 2008「ベンケイガイとアカガイ−東北地方における貝輪の生産と流通」『北の貝の道、南の貝の道−貝製品のシンボリズム−予稿集』東北芸術工科大学東北文化研究センター

菅原弘樹 2016「東北地方北部における土器製塩」『一般社団法人日本考古学協会2016年度弘前大会 第一分科会 津軽海峡圏の縄文文化研究報告資料集』

須藤隆ほか 1984『中沢目貝塚−縄文時代晩期貝塚の研究−』東北大学文学部考古学研究会

関根達人 2002「沢上貝塚出土晩期縄文土器の再検討」『宮城考古学』4号 宮城県考古学会
高橋満 2017「縄文時代土器製塩研究の展開と課題」『縄文の塩−土器製塩の技術と展開−シンポジウム予稿集』明治大学資源利用史研究クラスター・日本先史文化研究所
高橋満 2018「東北地方の製塩研究の現状と課題塩研究の展開と課題」『縄文の塩Ⅱ−製塩土器の型式と技術−シンポジウム予稿集』明治大学資源利用史研究クラスター
角田文衛 1936「陸前里浜貝塚の尖底土器」『史前学雑誌』8巻5号
寺門義範 1983「製塩」『縄文文化の研究2−生業−』雄山閣
松井章 2008『動物考古学』京都大学出版会
山内清男 1930「所謂亀ヶ岡式土器の分布と縄紋式土器の終末」『考古学』1巻3号
渡辺誠・吉田泰幸 2005「宮城県里浜貝塚製塩土器の再発見−角田コレクション紹介4−」『名古屋大学博物館報告』21号

七ヶ浜町教育委員会 1982『鬼ノ神山貝塚・野山貝塚』
七ヶ浜町教育委員会 1992『左道遺跡』七ヶ浜町文化財調査報告書7集
七ヶ浜町教育委員会 1993『水浜遺跡』七ヶ浜町文化財調査報告書8集
七ヶ浜町教育委員会 2010『清水洞窟貝塚』七ヶ浜町文化財調査報告書9集
七ヶ浜町教育委員会 2016『七ヶ浜町震災復興事業関連遺跡調査報告1平成24〜26年度・27年度(1)東日本大震災復興交付金埋蔵文化財発掘調査事業に伴う発掘調査報告書』七ヶ浜町文化財調査報告第11集
仙台市教育委員会 1996『中在家南遺跡他 仙台市荒井土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書』仙台市文化財調査報告書213集
仙台市教育委員会 2000『高田B遺跡』仙台市文化財調査報告書242集
仙台市教育委員会 2015『中在家南遺跡第6次調査ほか 仙台市荒井土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書』仙台市文化財調査報告書434集
鳴瀬町教育委員会 1998『里浜貝塚 平成9年度発掘調査概報』鳴瀬町文化財調査報告書3集
東北歴史資料館 1983『里浜貝塚Ⅱ−宮城県鳴瀬町宮戸島里浜貝塚西畑地点の調査・研究Ⅱ−』東北歴史資料館資料集7
東北歴史資料館 1988『里浜貝塚Ⅶ−宮城県鳴瀬町宮戸島里浜貝塚西畑北地点の調査−』東北歴史資料館資料集22
東北歴史資料館 1997『里浜貝塚X−宮城県鳴瀬町宮戸島里浜貝塚風越地点の調査−』東北歴史資料館資料集43
松島町教育委員会 2009『西の浜貝塚 Nトレンチ（昭和34年）』松島町文化財調査報告書4集
南相馬市教育委員会 2010『浦尻貝塚4』南相馬市埋蔵文化財調査報告書15集
宮城県教育委員会 1976『砂山横穴古墳群調査報告書』宮城県文化財調査報告書44集
宮城県教育委員会 1986『田柄貝塚』宮城県文化財調査報告書111集
宮城県教育委員会 1986『新浜B遺跡−塩釜漁港第7次整備計画及び港湾整備特別会計事業関連発掘調査報告−』宮城県文化財調査報告書113集
宮城県教育委員会 1990『摺萩遺跡』宮城県文化財調査報告書132集
宮城県教育委員会 2012『鍛冶沢遺跡ほか』宮城県文化財調査報告書222集
宮城県教育委員会 2011『北小松遺跡 田尻西部地区ほ場整備事業に係る平成20年度発掘調査報告書』宮城県文化財調査報告書226集
宮城県教育委員会 2014『北小松遺跡 田尻西部地区ほ場整備事業に係る平成21年度発掘調査報告書』宮城県文化財調査報告書234集
宮城県塩釜女子高等学校社会部 1965「七ヶ浜町東宮鳳寿寺貝塚調査報告」『貝輪』2号
宮城県塩釜女子高等学校社会部 1970「宮城県七ヶ浜町吉田浜二月田貝塚発掘調査報告」『貝輪』6号
宮城県塩釜女子高等学校社会部 1972「宮城県七ヶ浜町二月田貝塚第二次発掘調査報告」『貝輪』7号

報　告　書　抄　録

ふりがな	にがでかいづかだい3じちょうさ・とうぐうかいづかだい2じちょうさ
書名	二月田貝塚第3次調査・東宮貝塚第2次調査
副書名	
巻次	
シリーズ名	七ヶ浜町文化財調査報告書
シリーズ番号	第12集
著者名	田村 正樹
編集機関	七ヶ浜町教育委員会
所在地	〒985-8577 宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1　　TEL022-357-2111（代）
発行年月日	西暦2019年（平成31年）3月30日

ふりがな 所収遺跡名	所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		
二月田貝塚（にがでかいづか） 3次調査	七ヶ浜町吉田浜字二月田地内	04404	20002	38度 18分 42秒	141度 4分 23秒	1988.11.1 ～11.30	250.75㎡	町道側溝設置工事
	集落跡・貝塚 製塩遺跡	縄文後期～晩期 弥生中期、平安		遺物包含層3 竪穴住居跡1 土坑1		縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、製塩土器、土製品、石製品、骨角製品、貝製品、動物遺存体、人骨		
東宮貝塚（とうぐうかいづか） （鳳寿寺貝塚（ほうじゅじかいづか）） 2次調査	七ヶ浜町東宮浜字寺島、鶴ヶ湊地内	04404	20005	38度 18分 42秒	141度 3分 10秒	2017.7.20 ～8.24	156㎡	個人住宅
	貝塚・製塩遺跡	縄文晩期、弥生中期、奈良・平安		製塩遺構1 遺物包含層 貝層1、石組遺構3 炭化物集中遺構1		縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、製塩土器、石器、貝製品、動物遺存体		

要約	二月田貝塚	遺物は縄文時代後期前半から平安時代の遺物が出土したが、縄文時代晩期中葉(大洞C2式)から晩期後葉(大洞A式)の遺物が多い。土偶、独鈷石、貝輪なども出土した。
	東宮貝塚	弥生時代中期の製塩遺構、古墳時代前期の炭化物集中遺構、時期不明の石組遺構3基などを検出した。また、昭和40(1965)年に行われた塩釜女子高等学校社会部による調査の際のトレンチの一部を再検出した。製塩遺構の埋設土内からベンケイガイ製の装飾品が2点出土した。炭化物集中遺構で出土した炭化物はC4植物である可能性が高いことが判明した。

七ヶ浜町文化財調査報告書　第12集

二月田貝塚　第3次調査
東 宮 貝 塚　第2次調査

平成31年（2019年）3月30日　印刷・発行

発　行　七ヶ浜町教育委員会

〒985-8577　宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1
TEL 022-357-2111(代)　FAX 022-357-5744

印　刷　株式会社　鈴木印刷所

〒986-0861　宮城県石巻市蛇田字新谷地前121
TEL 0225-22-4101（代）　FAX 0225-94-2354